

特集

元氣の出る会議 「参加して良かった！」を引き出す コツとワザ

保健師にとっての会議の意義と課題

心理的安全性の確保が「元氣の出る会議」を創る 吉岡京子

会議の意義と課題から考える

「元氣の出る会議」を創るポイント 加留部貴行

意見を引き出し、会議を明るくする進め方

日本型ファシリテーションによる会議運営 釘山健一

元気になるホワイトボードミーティング®️ ちよんせいこ

PHOTO

COVID-19 拡大下でも継続実施した精神保健活動

みなと保健所の取り組み 樋口侑香, 他

連載

行動変容を導く ナッジの利いた保健活動 高橋勇太, 村山洋史, 竹林正樹

「おも★けん!」 新任期でもできる! おもしろ健康教育のつくり方

伊藤純子, 高橋佐和子

ポジティブな地域づくりを考える

公共哲学×ポジティブ心理学から見る公衆衛生活動 小林正弥, 島井哲志

新・健康格差社会 どこまで解明・対策は進んだか 近藤克則

編集後記

●「レジリエンス」を広く「逆境にあっても前向きに適応する能力」と捉えると、保健師活動における対象者への支援は「レジリエンス」への働き掛けと言えると思います。「レジリエンス」は「ポジティブ心理学」の分野で研究が進んでおり、弊社発行の『看護のためのポジティブ心理学』（秋山美紀ほか編）でも、看護の原点につながる15の概念の1つとして解説されています。ぜひ本書もご参照ください。「レジリエンス」のみならず、「ポジティブ心理学」で扱う各概念の知見は、日頃の保健師活動の意味を見つめ直す上で、とても有意義と思われます。（小林）

●今号のPHOTOでは下呂市の減塩への取り組みを紹介いただきました。多岐のご活動が健診受診率まで高めたとのことでした。食という毎日の出来事の意識変化は、それ以外の行動変容にも結び付きやすいのかもしれませんが。●先日、あるeラーニング動画で講師が「痛風予防に飲酒は有害だがワインはOK」と語っていました。本当か? と思い調べたところ、発言の根拠と思われる2004年の報告(PMID:15094272)以降、否定的な報告があり、信頼度としてはいまいちでした。講師はワイン好きなのでしょう。気を引き締めているんなお酒を飲もうと思いましたが(意識変化に結び付かずです)。(長原)

保健師ジャーナル 第77巻9号 2021年9月10日発行(毎月1回10日発行)
発行:株式会社医学書院 代表者 金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2021, Printed in Japan
印刷:株式会社アイワード

1部定価:1,650円(本体1,500円+税)

2021年年間購読料(送料弊社負担)は、弊社Webにてご参照ください。

www.igaku-shoin.co.jp/journal/664 (「保健師ジャーナル」で検索)

販売・PR部: ☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室: ☎(03)3817-5774 hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当:小林, 長原, 伊藤

☎ www.twitter.com/hokenshiJ ☎ www.facebook.com/hokenshiJ ☎ www.instagram.com/hokenshi_journal (「保健師ジャーナル」で検索)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて、業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

©COPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088, FAX03-5244-5089, info@copy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。